

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ナイログ
製品コード	RT201B
供給者の会社名称、住所及び電話番号	アサダ株式会社 名古屋市北区上飯田西町3-60 052-911-7165
緊急連絡電話番号	052-911-7165
FAX番号	052-914-2062
担当部門	営業本部
メールアドレス	sales@asada.co.jp
推奨用途及び使用上の制限	フレア部の漏れ防止

2. 危険有害性の要約

GHS分類	区分に該当しない、分類できないは省略
健康に対する有害性	生殖毒性 区分1B 特定標的臓器毒性（単回暴露） 区分1（神経系） 特定標的臓器毒性（反復暴露） 区分1（神経系）、区分2（副腎）
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性） 区分1
GHSラベル要素	
絵表示又はシンボル	
注意喚起語	危険
危険有害性情報	生殖能または胎児への悪影響のおそれ 神経系の障害 長期にわたる、または反復暴露により神経系の障害 長期にわたる、または反復暴露により副腎の障害のおそれ 水生生物に非常に強い毒性
注意書き	【安全対策】 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと 必要に応じて適切な保護具を使用すること ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと 取扱い後はよく手を洗うこと この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと 環境への放出を避けること
	【応急措置】 ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること ばく露した場合、医師に連絡すること 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること 漏出物を回収すること
	【保管】 換気の良い涼しい場所で容器を密栓して保管すること 日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること
	【廃棄】 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分

混合物

化学名	濃度%	官報公示整理番号	CAS No.
ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール	0.5%	7-1246	9003-11-6
リン酸トリクレジル	1.5%	3-2522, 3-2613, 3-3363	1330-78-5
ポリオール・エステルオイル	残り	企業秘密なので記載できない	

※合成無毒の食品グレードのオイル NSF登録番号119845 NSF：国立公衆衛生財団（アメリカ）

4. 応急処置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること 気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること
皮膚に付着した場合	水と石鹸を使い、洗い流すこと 皮膚の炎症が続く場合は、医師の診察/手当を受けること
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと、その後も洗浄を続けること 症状が続くようであれば、医師の診察/手当を受けること
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。無理に吐かせようとせず、水をたくさん飲むこと 気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること
急性症状及び遅発性症状	飲み込んだ場合、胃腸の炎症を引き起こす可能性がある
応急措置をする者の保護	情報なし
医師に対する特別な注意事項	情報なし

5. 火災時の措置

適切な消化剤	泡、水噴霧、二酸化炭素、粉末消火剤
使ってはならない消化剤	棒状の水を使用しない
火災時の特定の危険有害性	火災が発生した場合、一酸化炭素が発生する可能性がある
特有の消火方法	火元への燃焼源を断つ 水噴霧を用いて容器を冷却する
消火を行う者の特別な保護	適切な空気呼吸器、化学用保護具を着用する

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	密閉された場所に立ち入る前に換気すること
保護具及び緊急時措置	適切な空気呼吸器、防護服を着用すること 関係者以外の立ち入りを禁止すること 風上から作業をすること
環境に対する注意事項	下水道や公共水域への侵入を防ぐこと
封じ込め及び浄化の方法・機材	乾燥砂、土、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する
二次災害の防止策	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ 周辺の着火源を取り除く

7. 取扱い

技術的対策

適切な保護具を着用して作業する

取扱いは換気のよい場所で行う

安全取扱い注意事項

蒸気の発生を防ぐため、十分な換気を確保する

取扱い後はよく手を洗い、うがいをする

適切な空気呼吸器、防護服を着用すること

目、皮膚、衣服との接触を避けること

飲み込まないこと

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気を吸入しないこと

ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないように注意する

保管

安全な保管条件

直射日光を避け、換気の良い場所に保管する

酸化剤から離して保管すること

容器を密閉し、火気、熱源より遠ざける。

8. ばく露防止および保護措置

許容濃度

情報なし

設備対策

排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする

取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける

保護具

呼吸気用保護具

換気が不十分な場合は、適切な呼吸保護具を着用すること

手の保護具

長時間または繰り返し接触する場合は、適切な保護手袋を着用する

眼、顔面の保護具

眼、顔面用の保護具を着用すること

皮膚および身体の保護

長袖の作業衣を着用すること

9. 物理的および化学的性質

物理的状态

半粘着性液体

色

半透明の黄色

臭い

わずかな石油臭

凝固点

データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲

データなし

可燃性

データなし

爆発下限界および爆発上限界

データなし

可燃限界

データなし

引火点

263℃

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

PH

データなし

動粘性率

2000~3750 mPa·s 40℃ (目安)

溶解度

水に対する溶解性：不溶

n-オクタノール／水分配係数

データなし

蒸気圧

データなし

相対密度

0.8~1.0

相対ガス密度

データなし

1 0. 安定性および反応性

反応性	情報なし
化学的反応性	情報なし
危険有害反応可能性	強酸化剤と反応し、発熱、発火する可能性がある
避けるべき条件	高温、直射日光、湿気
混合接触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	燃焼の際には一酸化炭素、二酸化炭素が発生する可能性がある

1 1. 有害性情報

急性毒性	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	なし
生殖毒性	区分1B
特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分1（神経系）
特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分1（神経系）、区分2（副腎）
吸引性呼吸器有害性	分類できない
誤えん有害性	分類できない

1 2. 環境影響情報

生態毒性	情報なし
水生環境有害性 短期（急性）	区分1
水生環境有害性 長期（慢性）	区分に該当しない
残留性・分解性	長期間経過後、生分解
生態蓄積性	データなし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	関連法規ならびに地方自治体の基準に従って安全な方法で廃棄すること
汚染容器及び包装	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること 空容器は地域の条例に準拠してリサイクル、再利用または廃棄する

1 4. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	IMOの規制に従う。
航空規制情報	ICAO・IATAの規制に従う。
UN No.	2574
Proper Shipping Name.	TRICRESYL PHOSPHATE with more than 3% ortho isomer
Class	6.1
国内規制	
陸上規制情報	消防法の規制に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規制に従う。
航空規制情報	航空法の規制に従う。
緊急時応急措置指針番号	151

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

- 火気厳禁
- 水漏厳禁
- 横積厳禁
- 容器の破損、漏れがないことをたしかめる
- 荷くずれ防止を確実にを行う
- 該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う
- 直射日光をさける
- 夏場の輸送時においては、熱い鉄板、地面等の上に直接置かないこと
- 輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに取扱う
- 転倒したり、激突させたりしない
- 重量物を上積みしない

15. 適用法令

国内

労働安全衛生法	第五十七条第一項	(表示等)
	第五十七条の二	(文書の交付等)
労働安全衛生法施行令	第十八条、第十八条の二	(名称等を表示すべき危険物及び有害物)
	別表第九	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
消防法	指定可燃物	可燃性液体類
化学物質排出管理促進法	第一種指定化学物質	
毒物及び劇物取締法	非該当	
船舶安全法	非該当	
航空法	非該当	
輸出貿易管理令	非該当	
海洋汚染防止法	油分排出規制	
水質汚濁防止法	油分排出規制	
下水道法	鉱油類排出規制	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物規制	

米国

SARA (The Superfund Amendments and Reauthorization Act)		
極めて危険な物質 (302条, 355条)	物質の記載なし	
特定有害化学物質リスト (313条)	物質の記載なし	
TSCA (Toxic Substance Control Act)	リストに記載されているか、免除されている	
Proposition 65 (カリフォルニア州)		
がんの原因になることが知られている物質	物質の記載なし	
発達毒性を引き起こすことが知られている物質	物質の記載なし	
EPA (環境保護庁)	物質の記載なし	
IARC (国際がん研究機関)	物質の記載なし	

カナダ

DSL (国内物質リスト)	リストに記載されているか、免除されている
---------------	----------------------

その他の規制

SVHC (高懸念物質) Reach 57条	物質の記載なし
------------------------	---------

16. その他の情報

危険・有害性の周知徹底基準

NFPA 健康に対する有害性	0：健康に害を及ぼすことはない、予防措置不要
NFPA 火災危険度	1：発火させるには加熱が必要
NFPA 反応性	0：通常火にさらされても安定、水と反応しない
NFPA 特定危険有害性	なし

※NFPA：National Fire Protection Association(全米防火協会)

HMIS 健康	0：健康への重大なリスクはない
HMIS 可燃性	1：発火させるには加熱が必要
HMIS 反応性	0：通常火にさらされても安定、水と反応しない

※HMIS：Hazardous Materials Identification System(危険有害性物質識別システム)

記載内容は現時点で入手できる資料データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。注意事項は通常の実施を対し、また記載内容は情報提供であって保証するものではありません。危険・有害性の評価を絶対視することなく、取扱いには十分注意して下さい。